

報告日 令和6年9月5日  
報告回数 3日目

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	公立大学法人名桜大学			代表者名	理事長 高良 文雄
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	広報室(教務部入試・広報課)	連絡先電話番号	0980-51-1216
担当者役職	広報室長・教授	担当者氏名	木暮 祐一	連絡先E-mail	
住所	905-8585 沖縄県名護市為又1220-1				

#### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	沖縄総合通信事務所	連絡先部署	情報通信課		
担当者氏名	吉村 英樹	連絡先電話番号	098-865-2304	連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	DXサポーター人材育成		
概要	地域医療・健康分野におけるDXサポーター人材育成の重要性は高まっており、実践を含めご指導をいただきたい。				
支援を求める分野	人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 医療・介護・健康				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月30日	支援・助言&フォローアップ(実地)	8時30分	18時00分	60
				活動時間(分)	510
2-2. 派遣場所	会場名	名桜大学		最寄駅	名桜大学入口
	所在地	沖縄県名護市為又1220-1		最寄駅からの交通手段	路線バス

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	鈴木 邦治
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	日頃から総務省沖縄総合通信事務所や沖縄県内市町村が実施する各種イベント等のオンライン配信業務を受託されており、その経験値の高さが素晴らしい。本学が今後こうしたイベントのオンライン配信を行う上で、必要となる知識やノウハウを余すことなく本学学生および教職員に伝授頂いた。
アドバイザーへの要望事項	とくになし。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	7人	
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数		4	3

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に下記記入下さい)	イベント(講演会等)のオンライン配信は受益者となる視聴者の幅や範囲を拡げていくためにも一層重要なものになると考えられる。しかしながら、本学においてはその経験値が乏しく、それに必要な機器の選定、設置から具体的な配信作業に至るまで知見を拡げ、経験値を高める必要があった。
支援により目指す成果(具体的に下記記入下さい)	今後、本学教職員が学生のサポートも得ながら独自にイベント等の配信作業を行えるようにしたかった。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	支援3日目となる今回は、大会場（600席規模のホール）における実際の講演会の様子をオンライン配信することで、視聴者にとって内容を理解しやすいオンライン配信に必要なカメラワークや、音声等のミキシング、配信映像のスイッチングなどの実運用の理解を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	実際にオンライン配信を行う中で、配信に必要なノウハウを伝授頂いた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	本学教職員および専門技術サポートにあたる学生がプロによるオンライン配信の実際を共に作業することでノウハウを身に付けることができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	計画通りに実施できた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート調査等は実施していないが、指導を受けた職員および学生が独自に配信作業に取掛れるところまでのノウハウを得ることができた。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	規模に応じたイベントのオンライン配信のノウハウを得ることができ、今後は外注しなくても本学教職員および担当学生によってオンライン情報発信が可能になった。次年度以降はこれまで会場でのみ参加可能だったイベント(講演会等)を積極的にオンライン配信を併用することで、地域における受益拡大を図る。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本学のイベント開催時に外部業者に委ねることなく独自にイベントのオンライン配信を行うノウハウを蓄積し、それにより各種情報発信、とくに地域医療・健康分野の積極的な情報発信による地域の健康リテラシー向上に寄与したい。	

5. 報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past\\_year all houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all houkoku/)

**なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

